

子どもたちの安全確保推進事業

スクールガード・リーダー（地域学校安全指導員）による巡回指導、ITを活用して関係者間で情報を効果的に共有するためのモデル地域での取組などに加え、学校ボランティアの参画など地域の方々の協力も得ながら、地域ぐるみで学校安全に取り組みます。

①（一部新）地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業【34,618千円】

当初予算主要事業 教育委員会 10頁
生徒指導・健康教育室（224-2969）

スクールガード養成講習会（県内7ヶ所で開催）

学校安全モデル地域（1地域）

- ・学校内外の巡回
- ・地域安全マップ等の作成
- ・学校間、関係機関等における不審者に関する情報の共有化 等

スクールガード・リーダーの委嘱（40人）

【全小学校を対象（1人が約10校を担当）】

- ・学校及び学校周辺の定期的な巡回指導
- ・学校の安全体制の評価及び警備についての指導
- ・スクールガードに対する指導

学校安全情報共有システム調査研究

モデル地域（1地域）

不審者情報をはじめとする子どもの安全に関する情報を、IT（携帯電話やパソコン等）を活用して保護者や関係者の間で効果的に共有するシステムの調査研究に取り組む

②（新）学校ボランティアパートナーシップ事業【1,471千円】

当初予算主要事業 教育委員会 8頁
小中学校教育室（224-2963）

地域のボランティア団体やNPOが、学校と「学校ボランティア」を結ぶコーディネーターの役割を果たしながら、地域の人材や教職員OBなど多様な主体が「学校ボランティア」として、子どもたちの安全確保をはじめ、学習活動や学校行事などに関わっていく取組を支援し、「新しい時代の公」の考え方のもと、地域との連携による学校教育の充実をはかります。

【子どもたちの安全確保のための活動例】 登下校時の見守り、校内巡回、防犯訓練への参加 等